

事業所名

児童発達支援事業所 からふる

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		1人ひとりの違いを認め、色とりどりの個性を大切に、子どもたちのありのままに寄り添います。 からふるは、子どもたちが「楽しい」「うれしい」を感じながら、様々な活動を通して『できた!』を実感できる場所です。									
支援方針		子どもたちが興味をもつ活動や遊びを通して、新しいことにチャレンジすることで成長を促し、「できた!」という喜びを感じられるよう支援していきます。									
営業時間		8 時	0 分	から	17 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし	
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の把握 一日の流れを視覚的に提示することにより、睡眠、食事、排泄などの基本的な生活リズムの定着を支援する 食事が楽しくできるように、口腔内の機能や感覚を考慮しながら、噛むこと・飲み込むこと、姿勢、手指の運動機能に応じた食具の提供を支援する 食事、排泄、睡眠、着替え、トイレの利用、手洗いなど基本的な生活スキルの獲得 水分補給 歯磨きの指導および定着支援 おくちの体操を取り入れ、口の周りの筋力を強化し、口を閉じて鼻呼吸ができるようにする おくちの体操を続けていくことで、「食べる・話す・表情を作る・呼吸を助ける」といった口腔の十分な発達を促していく 									
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> その子のペースにあった運動あそび（体幹あそび、感覚あそび、手と指先あそびなど）を楽しみながら、基本となる身体づくりを目指す 体幹あそび：身体の基本となる体幹をトランポリンや平均台などで整えることで、立っている姿勢や座っている姿勢を安定させて、生活の中でできる活動を増やしていく 感覚あそび：新聞あそびや足湯、音楽あそびなどの感覚遊びで、子どもたちが望む感覚を満ちし気持ちを安定させて、活動への集中力や継続力をつけていく 手と指先あそび：紐通しやシール貼り、ブロックなどの手と指先あそびで、両手を上手に動かせるようにしていく 子ども一人ひとりの発達に合わせて製作を行い、様々な素材に触れながら、力をコントロールする感覚を身に付け、手先の器用さを育てていく 感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）を理解し、安心して過ごせる環境を設定する 									
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 認知の特性を踏まえ、情報を適切に処理出来るように個々の特性に配慮する 物の機能や属性、形、色、音の変化を楽しむ 数量、形の大きさ、重さ、色の違いなどに興味をもてるよう支援する 絵本や製作活動を通して季節を感じるよう支援する 場面に応じた気持ちの切替を支援する 									

	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつけることにより、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う ・実際の物や絵カード等を用いて、身近な物の名前、動き、様子や感情の言葉の習得を促す ・それぞれの言語レベルにあったコミュニケーション方法を活動の中に取り入れていく ・自分の思いが伝わる経験を増やし、人とコミュニケーションをとることを楽しめるよう促す ・指差し、身振り、サインなど様々なコミュニケーション手段を活用し、環境理解と意思伝達ができるよう支援する 	
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しいと思える遊びや活動を通して、楽しい感情を共有しながら信頼関係を築く ・活動や遊びを通して、他者との関わりを支援する ・集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する ・集団遊びを設定し、仲介に入りながら相手の感情や距離感の把握ができるよう声掛けを行う ・物事の善悪、声の大きさ、状況に応じたふるまい等を知ることができるよう支援する ・製作活動を通して作品を作り上げる達成感を感じられるよう支援する 	
家族支援	送迎時に家庭での様子や施設での様子を伝える 家族からの子育て、将来、日常生活などの悩みへの助言	移行支援	幼稚園、保育園、学校との情報共有
地域支援・地域連携	関係する他事業所、相談支援事業所と連携し、情報共有する	職員の質の向上	法定研修（虐待防止、権利擁護など） オンライン研修 外部講師による職員研修
主な行事等	季節に合わせた行事（クリスマス会、節分など） お楽しみ会・誕生日会・畑（作物の植え付け・収穫） 夏の水遊び		